

# 連携いいわい

平成27年10月

第10号

岩手県立磐井病院

## 磐井病院と地域医療福祉連携室の実績

事務局長 赤坂 高生

両磐二次保健医療圏には公的病院・民間病院が一関市一関地域を中心に10病院あり、人口10万人当たりの一般病床数は県平均を上回りますが療養病床数と医師数181.2人は県平均を下回り、高齢化率は30.9%と県平均を上回っています。※1

磐井病院は両磐療圏の県立病院等（千厩、大東、南光病院及び花泉診療センター）の基幹的医療機能を果たし、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院など数多くの指定医療機関となっています。

診療は27科体制※2で医師65人（研修医13人を含む）、看護職員265人を含む総職員数は493人であり、医師の体制維持は難しい状況が続いていますが、看護師については毎年強化を図っています。※3

昨年度延入院患者は78,534人、延外来患者は108,034人で、1日平均で入院患者約250人、外来患者約500人であり、救急患者14,734人のうち3,132件が救急車搬送、手術は2,228件で急性期医療が中心です。

地域医療福祉連携室は病診・病病連携と保健・福祉・介護機関との連携を強化するため、医師、看護師、医療社会事業士、事務、委託職員16名の体制で業務しています。

昨年度は紹介患者4,779人で紹介率61.8%、逆紹介患者7,076人で逆紹介率91.5%でした。

現在5つある地域連携パスの適用は57例、ホームページアクセスは79,479件と毎年伸びています。

医療従事者対象の研修会は21回、延1,640人の参加、一般向けの「どこでも医療講座」は12回、延べ477人の参加があり積極的な情報提供に努めました。

10月17日に一関市との共催で開催した「第3回一関市医療と介護の連携連絡研修会」では認知症をテーマに取り上げ、関係者や一般市民230名余りの方々に参加いただきました。

両磐圏域は早い速度で超高齢化社会に向かっており医療は勿論、介護や福祉など他の社会政策との連携の重要性が増しています。

磐井病院は地域医療福祉連携室の活動と県が進める地域医療構想の策定や年4回開催する地域医療支援委員会、研修会や広報活動などを通して皆様との連携を強化し、地域に貢献したいと考えています。



※1 「岩手県保健医療計画（2013-2017）」より抜粋

※2 院内標榜科を含む 標榜診療科は21科

※3 実績数値は平成26年度末現在

### 目次

- 磐井病院と地域医療福祉連携室の実績 ……1
- 放射線治療科新体制によせて ……2
- 部門紹介 - 臨床検査科 - ……3
- 紹介・逆紹介の状況 ……3
- 新任医師ご紹介 ……4
- イベント・催事のご案内 ……4



# 放射線治療科新体制によせて

放射線治療科医師 阿部 恵子

当院放射線治療科ではこれまで非常勤医師による診療をおこなってまいりましたが、2015年7月より常勤医が赴任し、地域のがん治療に貢献すべく体制を整えているところです。

当科では直線加速器（リニアック）1台を有し、X線、電子線を用いた外部放射線治療をおこなっています。対象疾患はほとんどが悪性腫瘍ですが、ケロイドや甲状腺眼症など一部の良性疾患も対象となります。

外部放射線治療は食道癌や前立腺癌などに対する根治的放射線治療のほか、骨転移や脳転移などに対する姑息的放射線治療、乳癌術後の予防的放射線治療、直腸癌の術前放射線治療など、その目的は多岐にわたっております。

根治的放射線治療では通常照射のほかにも早期肺癌や早期腎癌に対する定位放射線治療もおこなっております。状況によってより高精度なサイバーナイフ、強度変調放射線治療、粒子線治療などが適している場合には、こちらからそれらの治療法を提案し他施設にご紹介することもございます。

姑息的放射線治療については、骨転移による疼痛緩和目的の照射が代表的ですが、その他にも子宮頸癌や胃癌、肺癌病変からの出血に対し止血目的に照射をおこなうこともございますし、荷重部位骨転移に骨折予防として照射をおこなうこともあります。脊椎転移による脊髄圧迫や上大静脈症候群の改善目的に緊急照射することもあります。照射回数も患者さんの状況に応じて1回～20回程度と幅広く対応可能です。悪性腫瘍による苦痛症状でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、放射線治療の適応について遠慮なくご相談ください。

また最近では Oligometastases / Oligo-recurrence の概念から、単発～少数の遠隔転移病変に対する局所療法としての放射線治療の有効性が報告されてきています。

以上のように放射線治療の適応は想像以上に幅広いものです。多くの患者さんに有効性のある放射線治療を提供していきたいと考えております。

安心・信頼できる治療環境を目指してスタッフ一同日々勉強しています。どうぞよろしく願いいたします。



※ 担当医プロフィール

経験年数：11年

資格：日本放射線腫瘍学会

放射線治療専門医 医学博士



# 部門紹介 —臨床検査科—

臨床検査技師 藤野 幸恵

臨床検査科は検体検査部門と生理検査部門の2つに分かれ、検体検査部門では尿一般、血液、輸血、生化学・免疫、細菌、及び病理領域の検査を行っています。生化学・免疫検査では、昨年、磁気化学発光測定の新規統合装置を導入し、より感度・特異度の高い新規項目を測定できるように努めました。さらに全採血検体の測定時間を短縮し診療の迅速化や待ち時間短縮に貢献しています。

また、輸血業務では検査科で血液製剤の一元管理を行い適正使用に努めています。

病理検査では外科手術における採取組織を凍結して標本を作製し、良悪性の診断や切除範囲を確認する「術中迅速病理診断」を実施しています。これは特に乳房温存術で再手術削減の為にも重要な検査となっています。

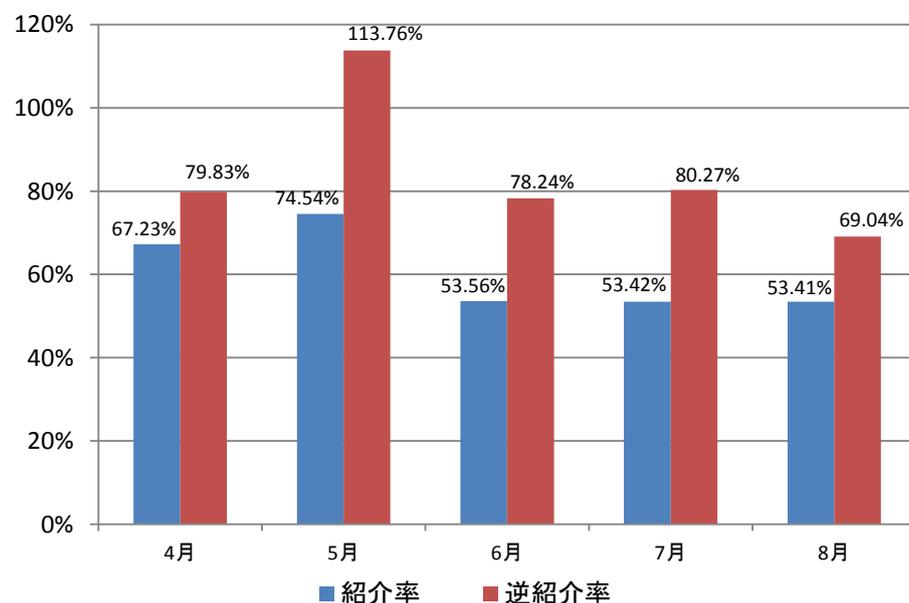
生理検査部門では心電図、肺機能、脳波、超音波、聴力などを行っています。ニーズの高い超音波検査は、心臓、腹部、血管、乳腺領域を行っており各技師が認定取得を目指して、より高度な知識や技術の習得に励んでいます。中でも乳腺領域については医師、放射線技師と一緒に症例検討会を定期的で開催し、職種を越えて知識を共有しています。

希望する患者さんへは検査結果説明を行っており、検査についての不明な点や質問について対応し、患者満足度アップを図っています。研修医のグラム染色、超音波技術の習得にも力を入れています。NST、ICT、褥創対策等に積極的に参加し、患者さんと共に作り上げるチーム医療を目指しています。



## 紹介・逆紹介の状況 (平成27年4月～8月)

当院は、平成25年10月に地域医療支援病院の指定を受けており、地域の中核病院として各医療機関との間で、適切な役割分担と連携を図っていくことが求められています。紹介率・逆紹介率は、その連携状況を測る指標となっています。



## 新任医師ご紹介



長らく外来休診が続いていた眼科ですが、8月10日より常勤医師を迎え、診療を開始しております。このたび着任した医師をご紹介します。

### 【プロフィール】

職名 眼科長  
氏名 石川陽平  
出身大学 岩手医科大学 (H16年卒)  
出身地 静岡県  
専門分野 角膜  
一言 眼科立ち上げ頑張ります。よろしくをお願いします。



## イベント・催事のご案内

10月24日(土) 緩和ケア病棟市民見学会  
午前11:00~12:00 午後13:00~14:00  
5階 緩和ケア病棟 定員20名(午前、午後各10名)

10月28日(水) 一関市立桜町中学校合唱部コンサート  
15:00~15:30  
1階 交流の街(待合ホール)

11月13日(金) 磐井病院がん患者・家族サロンころば  
よろず講演会&茶話会  
イヤですよね「・・・痛み！」  
～「がん」に関わるさまざまな痛みとの付き合い方～  
講師 平野 拓司(磐井病院 緩和医療科長)  
14:00~16:00  
2階 多目的会議室



褥瘡予防対策研修会  
「ずれ・摩擦予防につながる移乗動作の介助方法」  
講師 関谷 淳一(磐井病院 理学療法士)  
17:45~18:30  
2階 多目的会議室



## 岩手県立磐井病院

### 【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室  
病院ホームページ: <http://www.iwai-hp.com>  
公式 Facebook: <http://www.facebook.com/iwaih>

### 【連絡先】

〒029-0131 岩手県一関市狐禅寺字大平17  
電話(0191)-25-3452 Fax (0191)-23-9691  
連携室直通 Fax (0191)-21-3990

